

職員アンケート調査結果について

このたび、当事業所の職員へアンケート調査を実施いたしました。
保護者等に対するアンケート調査結果も踏まえ、職員全員で業務改善に取り組んで参りたいと考えております。

1. 実施期間 令和 2年1月14日(火)～ 1月25日(土)
2. 対象者 放課後等デイサービス事業従業者
3. 調査方法 アンケート用紙を配布し、対象者に協力を依頼しました。
4. 調査内容 (1)環境・体制整備 (2)業務改善 (3)適切な支援の提供
(4)関係機関や保護者との連携 (5)保護者への説明責任等 (6)非常時の対応
について調査を実施しました。
5. 回答総数 7件配布中 7件

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

作成日:令和 2年 3月 8日

回答率:100%

事業所名 坂井市社会福祉協議会 希望園

	質問項目	はい	いいえ	無回答	いいえの場合は理由をご記入下さい	希望園から保護者の方へ
		人数 (割合)	人数 (割合)	人数 (割合)		
環境・体制整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	5 (70%)		2 (30%)	活動や状況に合わせて、1フロアを仕切りで個別化したり、宿題や食事等は施設の共有スペースで行う等しています。	更衣室がないため、現在はスヌーズレンや仕切りで対応しています。今後、更衣に適した環境の提供ができるよう工夫していきます。
	2 職員の配置数や専門性は適切であるか	3 (40%)	2 (30%)	2 (30%)		送迎時間帯は職員が運転業務に入り、利用者支援の職員が手薄になるため職員体制を検討する必要があります。
	3 事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか	7 (100%)			建物は福井県福祉のまちづくり条例の整備基準バリアフリー表示証☆3つ(90～98%)を取得しています。	
業務改善	4 業務改善を進めるための、PDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	7 (100%)			職員ミーティングで協議して、実践し、毎日の振り返りで実施状況を確認しています。	
	5 保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	6 (85%)		1 (15%)	アンケート結果集計後、討議会を行っています。	
	6 この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	4 (60%)	1 (15%)	2 (30%)	昨年度は3月にホームページにて公開しています。今年度も3月にホームページにて公開予定です。	
	7 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	3 (40%)	3 (40%)	1 (15%)	現在、第三者による外部評価は行っていませんが、地域ボランティアに活動後の感想やご意見を聞いて業務改善に繋げています。	
	8 職員の資質向上を行うために、研修の機会を確保しているか	7 (100%)			外部講師を招き保護者支援の研修を受講しました。また、2月に児童発達支援管理責任者がが強度行動障害支援者養成研修を受講しました。	今後も、計画的に内外の研修に取り組み、職員の資質向上に努めます。
適切な支援の	9 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	6 (85%)		1 (15%)	保護者面談や活動の中で子どもの障がい特性等の情報収集を図り、アセスメントを実施し個別支援計画を作成しています。	
	10 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	6 (85%)		1 (15%)	事業所独自のツール(強度行動障害アセスメントツールを参考)を使用しています。	
	11 活動プログラムの立案をチームで行っているか	6 (85%)		1 (15%)	毎月、季節やニーズ、課題に応じた活動プログラムを職員ミーティングで話し合い立てています。	
	12 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	7 (100%)			活動内容が固定化しないよう、季節や流行を取り入れた活動やボランティアによる活動を計画し提供しています。	
	13 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	7 (100%)			平日は年齢に合わせた小集団での活動を提供、休日はドライブ、長期休暇中は遠足や買い物など外出支援を行っています。	
	14 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	7 (100%)			お子さんの障がい特性や能力に合わせた、個別と集団の活動を組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しています。	

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

作成日:令和 2 年 3 月 8 日

回答率:100 %

事業所名 坂井市社会福祉協議会 希望園

	質問項目	はい	いいえ	無回答	いいえの場合は理由をご記入下さい	希望園から保護者の方へ
		人数 (割合)	人数 (割合)	人数 (割合)		
提供	15 支援開始前には職員間で必ず打ち合わせをし、その日に行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	7 (100%)			打ち合わせは毎日実施しています。送迎担当表や申し送りファイルを通じて、職員が業務や支援内容を確認できるようにしていきます。	
	16 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	7 (100%)			支援終了後、振り返りで情報共有を図り、共有した情報を申し送りファイルに記入し、不在職員も確認できるようにしています。	
	17 日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	7 (100%)			個別ファイル等に記録し、児童発達支援管理責任者が内容を確認しています。利用実績は職員間で回覧し、	
	18 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	7 (100%)			9月と3月に定期的モニタリングを実施しています。保護者やお子さんのニーズに応じて、計画を変更しています。	
	19 ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っているか	6 (85%)		1 (15%)	お子さんの課題に応じて、自立支援と日常生活の充実、創作、地域交流、余暇の提供を複数組み合わせ合わせた活動提供を行っています。	
関係機関や保護者との連携	20 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい物が参画しているか	6 (85%)		1 (15%)	検討内容に応じて、管理者及び児童発達支援管理責任者が参加しています。	
	21 学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	7 (100%)			学校送迎時に担当教諭と顔を合わせて、学校での様子について引継ぎを行い、お子さんのスムーズな受け入れを行っています。また、行事等による送迎時間の変更は、学級通信等で情報共有しています。	
	22 医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	2 (30%)		5 (70%)	現在、対象のお子さんはいませんが、協力医療機関等、緊急時の体制は整備しています。	
	23 就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	4 (60%)		3 (40%)	就学前の移行支援会議に参加し、環境設定や支援方法等の情報収集を行い、事業所での支援体制を整えています。	
	24 学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	3 (40%)		4 (60%)	現在、事業開始2年目で対象者がいないため実績がありません。	令和2年3月に卒業されるお子さんについて、移行先の事業所に支援内容等の情報提供を行う予定です。
	25 児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	4 (60%)		3 (40%)	11月に福井県発達支援障害児者センタースクラム福井の講師による研修を行いました。	
	26 放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子供と活動する機会があるか	3 (40%)		4 (60%)	8月に地域の保育所を訪問し園児と一緒にゲームをするなど交流を深めました。	令和2年度は職員が地域の児童クラブへ訪問させて頂くなど、交流の機会を設けるための準備を進めていきます。
	27 (地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	4 (60%)		3 (40%)	児童発達支援管理責任者が児童支援部会に参加し、各関係機関と情報交換や地域課題の共有するなど連携を図っています。	現在は会議録にて職員への伝達をしていますが、今後、自立支援協議会で検討した地域課題等についても職員ミーティングで周知していきます。
	28 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	7 (100%)			保護者がお迎えの際に申し送りを行っています。また、特変があった場合は、電話や連絡帳を使用して保護者と情報交換を行っています。	
	29 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	3 (40%)		4 (60%)	11月に福井県発達支援障害児者センタースクラム福井の講師による保護者支援についての研修を行いました。	研修で学んだ支援方法を参考に実践していきます。
保護者への説明責任等	30 運営規定、支援の内容、利用者負担額等について丁寧な説明を行っているか	5 (70%)		2 (30%)	契約時や内容の変更時には書面を用いて説明しています。保護者と顔を合わせる時は、積極的に支援状況を伝えるようにしています。	
	31 保護者から子育ての悩み等に対する相談に応じ、必要な助言と支援を行っているか	5 (70%)		2 (30%)	苦情窓口を設けると共に、保護者等には書面を通して説明しています。現在のところ苦情はありません。	
	32 父母会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	6 (85%)		1 (15%)	11月に地域交流会と併せて保護者会を開催しました。	
	33 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	7 (100%)			苦情窓口を設けると共に、保護者等には書面を通して説明しています。現在のところ苦情はありません。	
	34 定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	7 (100%)			毎月の月間活動予定表と年3回、長期休暇中の活動報告の会報を発信しています。	
	35 個人情報に十分注意しているか	7 (100%)			10月、在宅福祉課の研修にて個人情報の取り扱いについて受講しました。	

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

作成日:令和 2 年 3 月 8 日

回答率:100 %

事業所名 坂井市社会福祉協議会 希望園

	質問項目	はい	いいえ	無回答	いいえの場合は理由をご記入下さい	希望園から保護者の方へ	
		人数 (割合)	人数 (割合)	人数 (割合)			
36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	7 (100%)			活動予定表は文章にルビを振りカラー印刷する等、誰もがしやすい配慮をして配布しています。また、子どもさんには写真や絵を使い視覚化した伝達を行っています。		
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	6 (85%)		1 (15%)	11月に事業所を開放し地域交流を目的とした薪割り体験を行いました。また、日頃から読み聞かせ等で地域のボランティアにご協力いただいています。	
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明しているか	6 (85%)		1 (15%)	11月に保護者交流会において、緊急時・防犯・感染症対応マニュアルの周知・説明を行いました。	
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行っているか	7 (100%)			8月と3月に避難訓練を実施しました。	
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	5 (70%)		2 (30%)	職員に障がい者虐待防止・権利擁護研修の受講者による伝達研修と、虐待の芽チェックリストによる自己点検を行いました。	
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	2 (30%)	3 (40%)	2 (30%)	現在、身体拘束が必要なお子さんは利用されていませんが、利用時には、体制を整備する予定をしています。	身体拘束が必要な場合は、個別支援計画に記載するなど書面での共有も行っていきます。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	5 (70%)	1 (15%)	1 (15%)	主治医から診断書をもらい、その指示を基にサービス提供しています。また、保護者からの情報を元に食品提供リストを作成し、おやつを提供しています。	今後も、保護者と連携を図りながら安心してご利用いただけるサービス提供に努めます。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	6 (85%)		1 (15%)	ヒヤリハットを作成し、職員ミーティングで共有しています。	